

第 43 回目の活動記録

「シイタケのコマ打ち、竹林の整備、タケノコ掘り、ネギ畑の草取り、大根畑のマルチ片づけ」

とき：平成 22 年 3 月 27 日（土）10 時～17 時 45 分

ところ：納屋の周辺、竹林、谷戸入口の畑、ビニールハウス奥の畑

天候：晴れ（風が冷たく、日差しがない届かないところは寒かった。日中は暖かった。）

参加者：石田(午前遅刻、昼から中抜け)、加藤(午前まで)、霧生(午前まで)、高田夫妻、高見(午前まで)、松本夫純、百崎夫妻+まる、鈴木(園主、午後より)

10 人+子ども 1 人

作業内容

午前 10 時～

・シイタケのコマ打ち：加藤、霧生、高田夫妻、高見、松本純、百崎一家

小屋前水道脇でブルーシートを敷き、シイタケのコマ打ちをする。90センチほどのナラなどのホダ木 1 本につき 40 ヶ前後の穴をドリルで穴を開ける係と、穴にきのこ種菌を小槌で打ち込む係に分かれて作業。日差しがあつて暖かいが、風が冷たい。皿に取ったコマが乾かない様に日陰に置きながら作業をする。

ドリル 2 本、小槌 5 本 - ドリルがもう一つ欲しいところ。

穴を開けるときは、原木の太さを見ながらおこなう。直系 10 センチほどの標準サイズで 8 個×3 列程度。最後に原木が余ったり、コマが余ることの無いように特に後半は慎重に加減しておこなう。

テツさんから電話で言われて「穴はもう少し少なくていい」と言ったが、「ピッタリ終わらせよう」と言えば良かったですね。日本語は難しい。(石田談)

・赤米、強力粉(二種類)の仕分け 石田、高田直子

赤米 - 約 5 キロ、パン用の小麦粉「ゆめしほう」 - 約 1 キロ

昼休み

午前帰り組は竹林へタケノコ掘りに。なかなか戻らず。あ、無事タケノコを抱えて、戻って来ました。皆、笑顔。恵みに感謝です。

午後

・コマ打ちの続き。高田裕司、松本純、百崎一家

1 袋/1000 個のきのこ種菌を全部で 6 袋/6000 個打ち切る。

打った木は、170 本前後でしょうか。コマが無くなったので終了。ホダ木の残りは 30 本くらい？

ドクターモリのきのこ菌種

品種：JMS 5K-16 主原料：国内産ブナ 副原料：有機砂糖、穀類

・竹林の整備：高田夫妻、松本純、百崎一家

道を渡った竹林へ移動。タケノコ用のクワの代わりに、大きいクワやつるはし、先の尖ったスコップを持っていく。

急斜面に落ちている竹（先週に片付け切れなかった竹）を下の方に集める。なかなかの重労働。最後にはだいぶ片付いた。

・タケノコ掘り：高田夫妻、松本純、百崎一家

掘りだす際に、松本さんのツルハシが活躍していました。やっぱり専用の道具が無いと作業が捗らないのですね。20本くらい？掘りあてる。ありがとうございました。

・谷戸入口のネギ畑で草取り：石田、高田夫妻、松本純、百崎一家、園主

ネギ畑の雑草を抜く。ペンペン草などけっこう生えている。タケノコと違って、すぐ引っっこ抜けるので嬉しい。じゃんじゃん抜く。

・ビニールハウス奥 大根畑のマルチ剥がしと大根抜き：石田、高田夫妻、松本純、百崎一家

トウが立った大根を抜く。マルチ7列分あり、約1000本ほど。抜いた後、マルチを剥がし丸めて破棄。大根も破棄。勿体ないお化けが出そう。

・もっと奥の菜の花畑 スーパーで買うと少しの量でお高い野菜「菜の花」。ぼきぼき折って花束に。贅沢なお土産を頂きました。ありがとうございました。

* 次回の作業予定 来年度一回目！4月3日（土）9：30～
シイタケのコマ打ち、竹林伐採整備 等

（記録：百崎恵美）